

本年度の学校評価

本年度の重点目標	災害に対する意識を高め、校内体制を確立する。 効率的・効果的な業務改善を行う。		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の指導計画や学習の内容段階表による授業づくりを行い、指導と評価の一体化を図る。</li> <li>・計画的・組織的な交流及び共同学習を積極的に推進する。</li> <li>・校外学習等の体験学習に積極的に取り組み、社会性や共に生きる力の育成を図る。</li> <li>・小学部から高等部までの一貫したキャリア教育の充実に努める。</li> <li>・児童・生徒会活動に組み込み、問題解決能力の育成や達成感の獲得に努める。</li> <li>・外部専門家や関係諸機関(学識経験者、医師、看護師、PT、OT、ST等)との組織的連携を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習の内容段階表を活用した各教科等を合わせた指導の授業改善—チームで取り組む授業づくり—」というテーマで校内研究に取り組む。</li> <li>・学校間交流及び居住地校交流は、児童生徒の主体的性を重視し、互いに積極的に関わり合えるように直接的な関わりを促す。</li> <li>・各部、各教科の目標を意識して学習を計画し、段階的に学習が進められるようにする。また、体験を通して自らの課題を見出し、生涯を通して学び続ける姿勢が身に付くようにする。</li> <li>・卒業後に必要となる力について整理し、キャリア教育の視点を学習活動に取り入れていくように促す。</li> <li>・児童・生徒会活動の目的(校訓「エチカ」を基にどんな学校にしたいか)と目標(目的を実現するために何ができたらいいのか)を児童生徒と教員が協力して設定し、そこにひも付けた具体的な活動を児童生徒が主体的に展開する。</li> <li>・刈絵セラピストとのケーススタディなどを通して、外部専門家と意見を出し合う機会を重ねることで専門性の確保に努め、助言内容を生かした多角的な視点での授業改善につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部で授業づくりのチームをつくり、教職員間で話し合いを通じて授業改善を行う。公開授業を実施し、そのうち研究協議を行うことで、研究を深める。</li> <li>・交流及び共同学習は、相手校と密に連携を図りながら活動内容を検討していく。</li> <li>・学びの機会を多く設定することで、体験的な学習と日常の学習を意味付け、計画的に学習が広げられるようにする。医療的ケアが必要な児童生徒も安全に参加できるように、看護師とも連携し、機会を増やす。</li> <li>・本校のキャリア教育の考え方や進路指導の具体的な内容等をまとめた教員用の進路ガイドブックを作成し、職員に周知を図る。</li> <li>・教員は児童・生徒会活動が目的と目標に向かっているかどうかを確認し、必要に応じて助言する。また、児童生徒が達成感を得られるように、活動ごとに適切な振り返りを行う。</li> <li>・校内職員での実践事例検討の機会を設定し、複数の視点での実態把握や授業改善の経験を積み重ね、外部専門家の助言内容等を他の児童生徒の指導や支援にも生かすことができるように共有方法を充実させる。</li> </ul>
信頼される学校づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者、医療・福祉関係者、施設・事業所等関係者、地域住民等による学校評価を実施し、学校運営の改善に努める。</li> <li>・保護者・地域の各関係者等との情報のやりとりを密にし、教育活動の充実に努める。</li> <li>・地域における特別支援教育のセンター的機能の整備・充実に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者・教職員アンケートの分析や学校評価を多角的な視点で行い、まとめたものを学校運営の改善に生かす。</li> <li>・要請訪問相談(かりとく相談)、障害乳幼児相談(かもめ相談)などにより、地域の小・中学校・高等学校等や障害のある乳幼児の保護者などに積極的な支援を行う。</li> <li>・8月に実施する刈谷市特別支援教育研修会では、特別支援教育に関する今日的な課題を提起し、特別支援教育への理解を深める会になるように実行委員会で十分に検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートが学校運営に対する保護者・教職員の意見を反映させるものになっているか、再度確認をした上で実施する。学校関係者が評価をしやすいように、行事等の折に児童生徒の学校生活を参観していただくとともに、学校の取組を分かりやすく紹介する。</li> <li>・来談者が相談のよさを実感する相談の在り方を考えていくとともに、様々な相談に対応する教員の専門性の向上を図る。</li> <li>・刈谷市特別支援教育研修会は半日日程で行うことで、参加者が無理なく参加できるようにする。</li> </ul>

<p>一人一人の安全・安心な教育環境の整備に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害等に対する組織体制を整え、健康・安全教育の推進に努める。</li> <li>・医療的ケアの安全な実施体制の整備に努める。</li> <li>・食に関する指導の充実に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害等の非常事態に備え、防災・防犯訓練や研修等を実施し、課題を見出す。</li> <li>・災害時を想定し、給食時間に非常用物品を使った経管栄養のシミュレーションを実施する。</li> <li>・食に関する指導の全体計画に基づいて、年間をとおして指導を進める。必要に応じて、栄養教諭や養護教諭と連携して食に関する授業を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理マニュアルの内容を精選して、活用しやすい形に変更する。防災・防犯訓練について、実際に起きた時を想定して、教職員がどのように動くかが明確になるように計画する。</li> <li>・非常用物品の使い方等を確認し、教員と看護師が役割分担をしてシミュレーションを実施し、それぞれの立場で課題を出し合う。</li> <li>・食に関する指導の全体計画の作成し、児童生徒の実態に合った指導に取り組む。年度末には実施内容についての振り返り・評価をすることで充実を図る。</li> </ul>
<p>効率的・効果的な業務改善を進め、授業づくりの充実に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Teams や WinBird を積極的に活用し、情報の共有化による業務の効率化を図る。</li> <li>・教員の資質向上のため動画コンテンツを作成し、個々の裁量による研修の進め方を推進する。</li> <li>・校務分掌間の連携を密にし、業務の平準化に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の共有においてグループウェアを積極的に活用することで、会議や打合せの時間を削減する。</li> <li>・全校研修及び任意研修の様子を動画に撮り、ワンドライブ上で記録・共有できるようにする。適宜教職員に呼び掛けて、研修の実施を促す。</li> <li>・校務をチームで支える風土を育み、互いの強みを生かし合う協働体制を構築する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡事項等をグループウェアに記入する際には、誰もが分かりやすい内容や形式になるようにルールを明示する。</li> <li>・全校研修は、名簿を準備して参加者を把握し、当日参加できなかった教職員には、期限を設けて動画視聴による研修を行うように促す。必要に応じて動画を更新し、研修機会を十分に確保する。</li> <li>・校務を複数で担って負担を分かち合い、誰もが無理なく業務を行える体制を整える。</li> </ul>
<p>学校関係者評価を実施する主な評価項目</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人を大切にした教育の在り方</li> <li>・関係機関との連携方法</li> <li>・信頼される学校づくりの展開状況</li> <li>・医療的ケアの安全・安心なシステムの構築状況</li> <li>・学校の危機管理体制</li> </ul>	